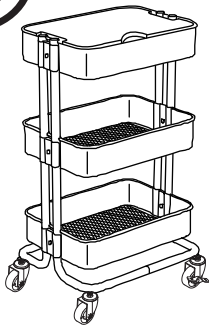


ROSSINI ミニバスケットワゴン

天板付き 3段

品番：ROWG-41T-3D



この度は、本製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。
ご使用前に、必ずこの説明書を最後までお読み頂き、正しい使い方で末永く
ご使用下さい。

①注意事項

- 危険ですので、ワゴン以外の用途にご使用しないで下さい。
- 製品の上に、水気のものや熱を持ったものを直接置かないで下さい。
- 直射日光のあたる場所や、湿気の多い場所でのご使用は控えて下さい。
変形・変色の恐れがございます。
- 水平な場所でご使用頂きますように、お願いします。
- 商品に偏った体重のかけ方をされると横転の危険があります。特に
ご注意下さい。
- 組立ての際には床等が傷つかないように、布等を敷いた上で組立てして
下さい。
- ご使用中にゆるみが出た場合は、各部分のボルト・ネジを確実に締め直
して下さい。

ROSSINI ミニバスケットワゴン 天板付き 3段(ROWG-41T-3D)

品質表示

- ※外形寸法：約 幅410mm×奥行360mm×高さ730mm
※表面材：(天板)天然木
(脚部・バスケット)スチール
※表面加工：(天板)ラッカー塗装
(脚部・バスケット)エポキシ粉体塗装

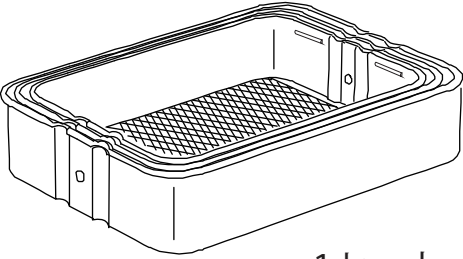
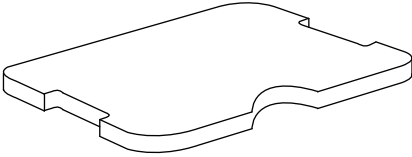

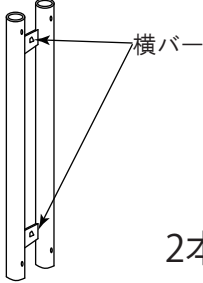
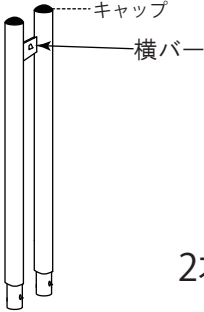
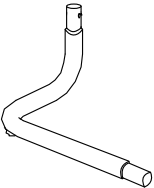




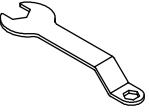

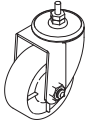
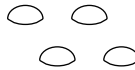

取扱上の注意

1. 湿気の多い場所でのご使用はお避け下さい。
2. ご使用の際は、水平に保つようにして下さい。
3. 直射日光またはストーブなどの熱はお避け下さい。
4. 加熱したなべ、湯沸かし等を直接置かないで下さい。
5. 腰掛けたり上には乗らないで下さい。

表示者：株式会社B.Bファニシング
大阪府堺市東区丈六171- 37 ユニマニシビル2F
TEL：072-230-3334

MADE IN CHINA

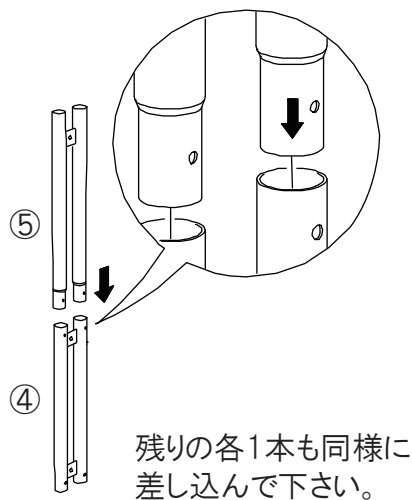
組立説明書 ※プラスドライバーをご用意ください。

部材		※組立前に、以下の部材が揃っているか必ずご確認ください。		
①大バスケット（下段用）、中バスケット（中段用）、小バスケット（上段用）		②天板	③鉄片	
				
1セット		1枚	6枚	
④下パイプ		⑤上パイプ	⑥曲げパイプA	⑦曲げパイプB
				
2本		2本	2本	2本
部品		※組立前に、以下の部品が揃っているか必ずご確認ください。		
A:ボルト(長)		B:ナット	C:ボルト(短)	D:スパナ
				
6本+予備1本		6本+予備1本	10本+予備2本	1本
E:キャスター（ロック付き）		F:キャスター	G:天板のがたつき止め	H:Sフック
				
2 個		2 個	4個	2個

1

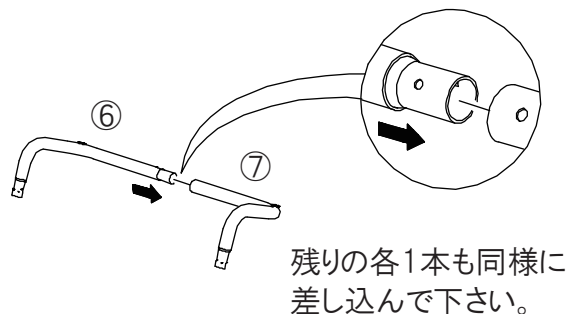
組立する前に、組立時に床などが傷つかないように、毛布や段ボールなどの上で組立を行うように、お願い致します。

⑤上パイプを、下記のイラストの様に、④下パイプに挿し込んで下さい。



3

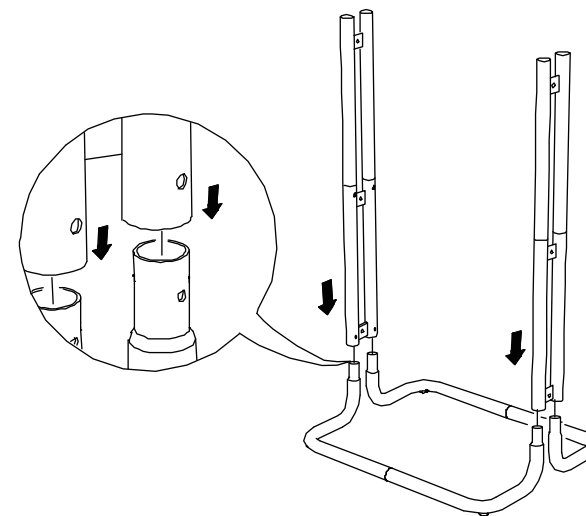
⑥曲げパイプAと⑦曲げパイプBを、下記のイラストの様に、挿し込んで下さい。



5

下記のイラストの様に、②で組立てたパイプを、④で組立てた物に挿し込んで下さい。

※②で組立てたパイプにボルト穴が開いています。この穴は内側に向けて取付けて下さい。

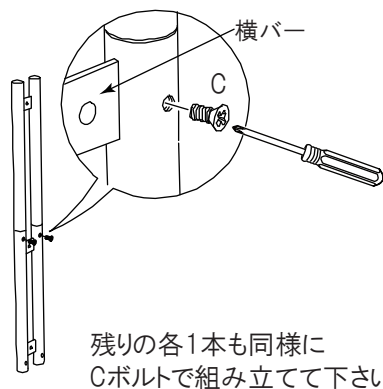


2

①で組立てた物に、下記のイラストの様にCボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

注意!

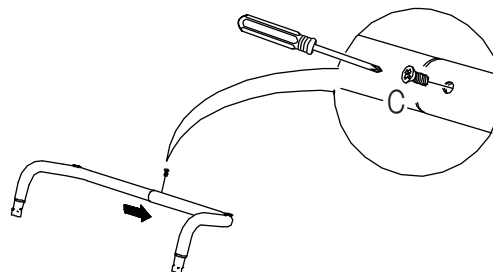
※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。
このCボルトを最後までしっかり締めた場合に、ボルトの締める力にパイプが引っ張られて、がたつきの原因になる可能性があります。
このCボルトは、仮止めでも使用上の強度には影響はございません。



4

③で組立てたパイプに、ボルト穴が開いていますので、その穴に、Cボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

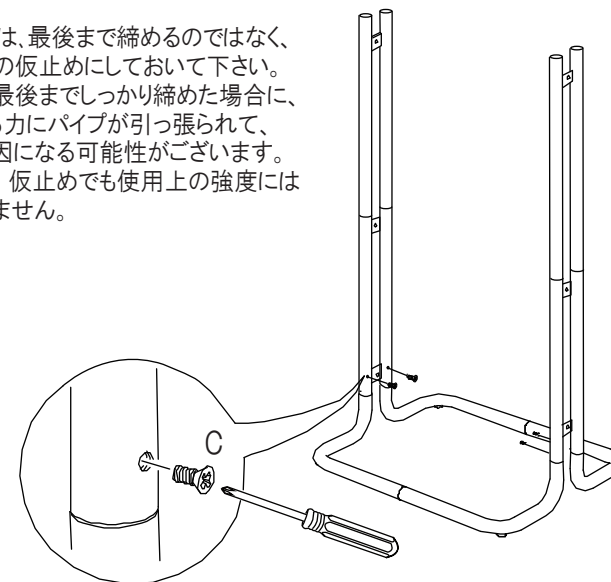


6

⑤で組立てた物に、下記のイラストの様にCボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

注意!

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。
このCボルトを最後までしっかり締めた場合に、ボルトの締める力にパイプが引っ張られて、がたつきの原因になる可能性があります。
このCボルトは、仮止めでも使用上の強度には影響はございません。

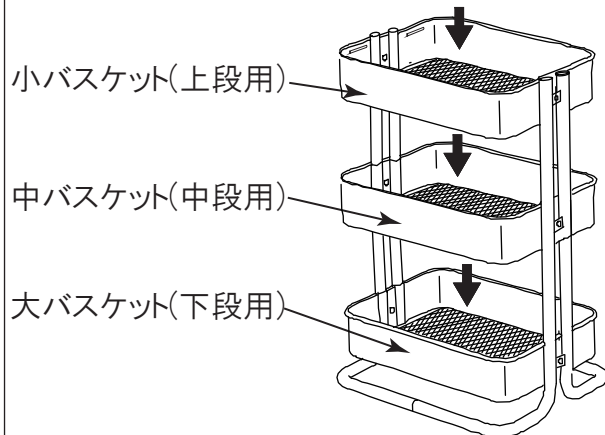


7

6 で組立てた物に、下記のイラストの様に
①大バスケット(下段用)、中バスケット(中段用)、
小バスケット(上段用)を上から入れて下さい。

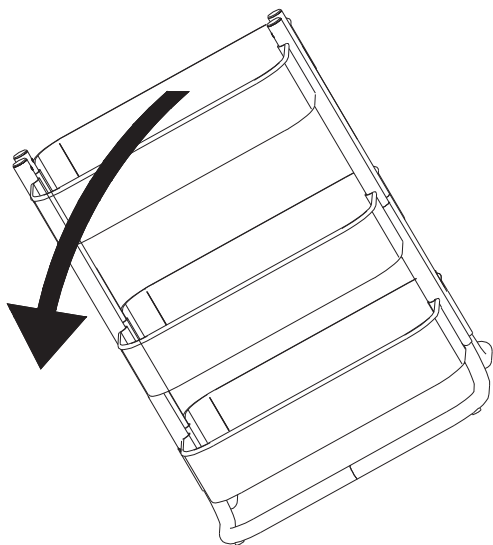
注意!

※上記のバスケットを入れる作業の時に、4 と 6 で仮止め
にしていたCボルトのボルト頭が、バスケットの底とぶつかりあ
う場合がございます。
その場合は、4 と 6 で仮止めしてある、Cボルトをもう少し
締めて調整をしてから、再度バスケットを入れてみてください。



8

7 で組立てた物に、下記イラストの様に
ゆっくりと、横向きに倒して下さい。



9

8 で組立てた物を、下記のイラストの様に、パイプの横バーに開いている穴に、
③鉄片とAボルト(長)を外側から通したあと、バスケットの側面に開いている穴にも
Aボルト(長)を通してから、バスケットの内側からBナットを指でくるくると回すように
して止めて下さい。

注意!

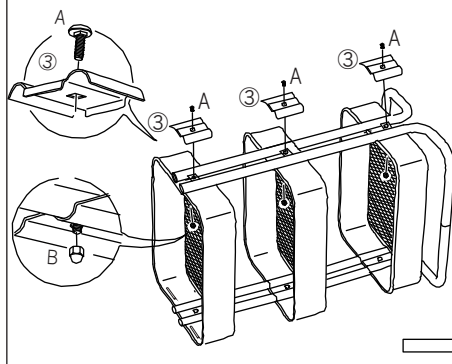
④パイプの横バーのボルト穴にAボルト(長)を貫通させずに組み立てると、バスケットが
斜めに歪んで組み上がりますのでご注意ください。

注意!

バスケットの組立てる順番ですが、最初に上段バスケット、次に中段バスケット、次に下段
バスケットの順番で取り付けして下さい。

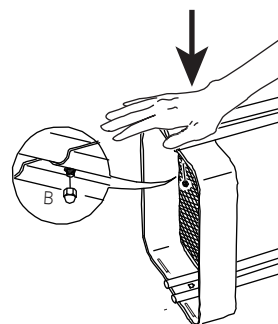
注意!

Aボルト(長)は、最後まで締めるのではなく、指で回して止めれる程度の仮止めにしておいて下さい。



組立のコツ!

下記のイラストの様に、Aボルトの付近を
手で押さえて上から押すような形で、
組立てていただくとスムーズです。



10

9 で組立てた物を、反対側に裏返して下さい。次に下記のイラストの様に、
9 と同様にパイプの横バーに開いている穴に、③鉄片とAボルト(長)を外側から
通したあと、バスケットの側面に開いている穴にもAボルト(長)を通してから、
バスケットの内側からBナットを指でくるくると回すようにして止めて下さい。

注意!

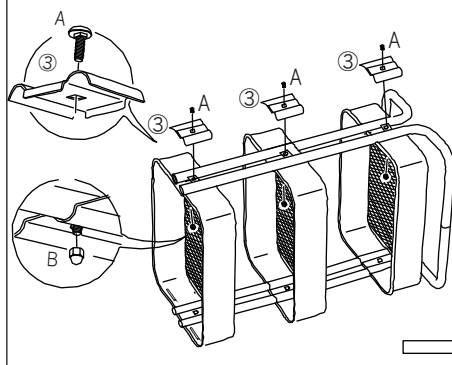
④パイプの横バーのボルト穴にAボルト(長)を貫通させずに組み立てると、バスケットが
斜めに歪んで組み上がりますのでご注意ください。

注意!

バスケットの組立てる順番ですが、最初に上段バスケット、次に中段バスケット、次に下段
バスケットの順番で取り付けして下さい。

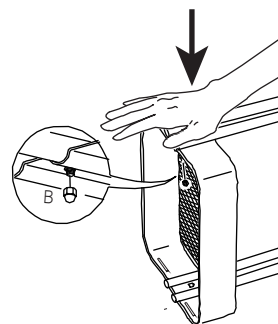
注意!

Aボルト(長)は、最後まで締めるのではなく、指で回して止めれる程度の仮止めにしておいて下さい。



組立のコツ!

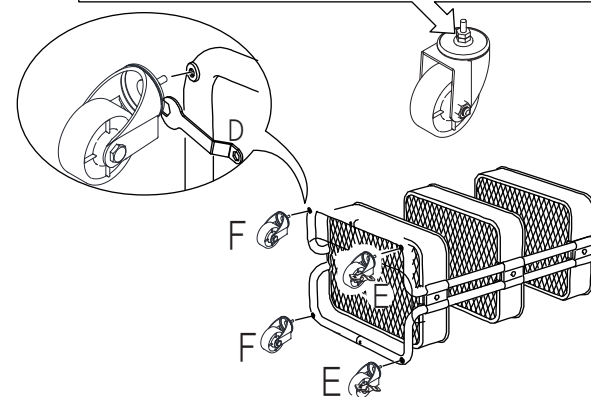
下記のイラストの様に、Aボルトの付近を
手で押さえて上から押すような形で、
組立てていただくとスムーズです。



11

10 で組立てた物の裏側に、下記のイラストの様に
Eキャスター(ロック付き)とFキャスターをDスパナを使用して、
取付けて下さい。

※E,Fキャスターのナット が1番下まで締め
てあるか確認してから 取付けて下さい。



12

11 で組立てた物を起こして下さい。次に下記のイラストの
様に、4 で仮止めになっていた、Cボルト(短)をドライバー
を使用して最後まで締めて下さい。

次に、9 と 10 で仮止めになっていた、Aボルト(長)を、
Dスパナを使用して最後まで締めて下さい。

次に下記のイラストの様に、G天板のがたつき止めを貼りつけて下さい。
次に、上部バスケットに②天板を乗せるようにしておいてください。
Sフックを中段や、下段バスケットにお好みの位置に掛けて
下さい。これで完成です。

※上部バスケットとパイプの間に、若干隙間ができる場合
がありますが、強度等には問題有りません。

注意!

Aボルト(長)は、Dスパナを
使って力いっぱい締めると、
ボルトを締める力の方が強いので、
バスケットの鉄板が歪んでしまう
可能性があるため、力いっぱい
締めずに、ある程度固くなった
ら止めて下さい。

※ご使用になる場所や、組立の
仕方によって、商品本体にがたつきが
発生する場合があります
が、そのような場合は、
Dスパナを使用して、
キャスターの高さを
微調整して頂くと、直ります。

